

**This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- **BLACK BORDERS**
- **TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- **FADED TEXT**
- **ILLEGIBLE TEXT**
- **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- **COLORED PHOTOS**
- **BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS**
- **GRAY SCALE DOCUMENTS**

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

HEALTH CARE SYSTEM

Patent Number: JP2002015071

Publication date: 2002-01-18

Inventor(s): TANIE KATSUNORI;; KOBAYASHI TORU;; YAMASHITA KUNIIHIKO;; KANAZAWA YASUYUKI;; NOMURA HIROYOSHI;; YASUI TOSHIHIKO

Applicant(s): MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

Requested Patent: ☐ JP2002015071

Application Number: JP20000198327 20000630

Priority Number (s):

IPC

Classification: G06F17/60; G06F17/40

EC

Classification:

Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To settle the most suitable guidance display responding to users and to easily settle a measuring control program of living body data needed by the users when same terminal is used by the users.

SOLUTION: In a health care system, users ID information identifying measured persons or terminal ID information identifying health data measuring terminals is transmitted from a user terminal (health data measuring terminal) 100 to a server 101, and a user interface selected by the server 101 based on the attribute information and a program on medical inquiries are received and proceeded at the user terminal 100.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開 2002-15071

(P 2002-15071 A)

(43) 公開日 平成14年1月18日 (2002. 1. 18)

(51) Int. Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード (参考)
G 0 6 F	17/60	1 2 6	W 5B049
			1 2 6 H
			1 2 6 Q
			1 2 6 Z
17/40	3 4 0	17/40	3 4 0 A
審査請求	未請求	請求項の数 1 0	O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願2000-198327 (P2000-198327)

(22) 出願日 平成12年6月30日 (2000. 6. 30)

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 谷江 克典

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72) 発明者 小林 徹

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(74) 代理人 100097445

弁理士 岩橋 文雄 (外2名)

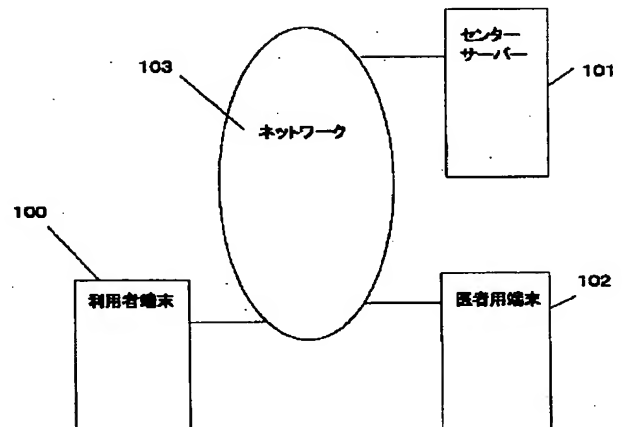
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 健康管理システム

(57) 【要約】

【課題】 利用者が同一の端末を使うときに、利用者に応じて最適なガイダンス表示や利用者が必要とする生体データの測定制御プログラムを容易に設定すること。

【解決手段】 利用者端末 (健康データ測定端末) 100 から、被測定者を識別する利用者 ID 情報または健康データ測定端末を識別する端末 ID 情報をサーバー 101 に送信し、サーバーが属性情報に応じて選択したユーザーインターフェースや問診内容に関するプログラムを利用者端末 100 で受信して実行する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ネットワークに接続して、被測定者の健康データを測定して送信する健康データ測定端末と、前記健康データを受信し記憶するサーバーとで構成される健康管理システムで、前記健康データ測定端末は、被測定者を識別する利用者 ID 情報または健康データ測定端末を識別する端末 ID 情報を前記サーバーに送信する ID 情報送信手段と、前記サーバーから受信したプログラムを実行するプログラム実行手段とを備え、前記サーバーは、被測定者の属性情報を記憶する記憶部と、受信した前記 ID 情報に応じて被測定者の属性情報を検索する検索部と、前記属性情報に応じてユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを選択し前記健康データ測定端末に送信するプログラム送信手段を備える健康管理システム。

【請求項 2】 ネットワークに接続して、被測定者の健康データを測定して送信する健康データ測定端末と、前記健康データを受信し記憶するサーバーとで構成される健康管理システムで、前記健康データ測定端末は、被測定者の属性情報を入力して前記サーバーに属性情報を送信する属性情報送信手段と、前記サーバーから受信したプログラムを実行するプログラム実行手段とを備え、前記サーバーは、受信した前記属性情報に応じてユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを選択し前記健康データ測定端末に送信するプログラム送信手段を備える健康管理システム。

【請求項 3】 属性情報は被測定者の身体的特徴である請求項 1 または 2 記載の健康管理システム。

【請求項 4】 ユーザーインタフェースは、問診や操作に関するガイダンスである請求項 1 または 2 記載の健康管理システム。

【請求項 5】 属性情報に被測定者の年齢情報を含み、前記属性情報に応じてプログラム送信手段はユーザーインタフェースやその表示文字の大きさを変更する請求項 1～4 のいずれか 1 項記載の健康管理システム。

【請求項 6】 属性情報に被測定者の国籍や使用言語の情報を含み、前記属性情報に応じてプログラム送信手段はユーザーインタフェースやその表示言語を変更する請求項 1～4 のいずれか 1 項記載の健康管理システム。

【請求項 7】 属性情報に被測定者の性別の情報を含み、前記属性情報に応じてプログラム送信手段はユーザーインタフェースや問診内容を変更する請求項 1～4 のいずれか 1 項記載の健康管理システム。

【請求項 8】 健康データ測定端末において被測定者の入力操作の全部又は一部の履歴状況をサーバーに送信し、受信した前記履歴状況をサーバーの記憶部に記憶する請求項 1～4 のいずれか 1 項記載の健康管理システム。

【請求項 9】 サーバーは入力操作判定部を備えて、健康データ測定端末における操作入力履歴状況を分析し

てユーザーインタフェースを判定する特許請求項 8 記載の健康管理システム。

【請求項 10】 入力操作判定部は、履歴状況の分析において、健康データ測定端末に表示する画面を過去の画面に戻す操作や操作ガイダンスを要求する操作を被測定者が行った場合に、被測定者から見てわかりにくいユーザーインタフェースであると判定する特許請求項 9 記載の健康管理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は個々の患者から測定される生体情報を基に、離れた場所にある医療機関、担当医の健康相談、医療相談を行う、健康管理システムに関するものである。

【0002】 事前に、アンケートによって得られた測定者の固有情報をサーバー内に登録して、測定者の固有情報に応じて、画面の表示内容を最適に表示したり、サーバーからダウンロードするプログラムの内容を変更して、測定者に最適な機器設定を可能とすることを目的としている。

【0003】

【従来の技術】 従来、生体データを収集して記録し、データの内容を評価し、測定値に異常があった場合に、端末装置から医療機関に通報するシステムには特開平 1-91834 号公報に記載される健康管理システムなどがあつた。このシステムは、健康管理端末において、送信機内にある記憶手段に記憶された正常値データとセンサ部からの測定データとを比較し、測定データが異常であった場合に、送信機が異常信号を送信し医療機関に通報するものである。

【0004】 また、健康管理システムではないが、一般的にパソコン端末等において、端末側に利用者固有の設定を行い、動作開始時にその設定を有効にするものとして、オペレーティングシステム（以下、OS）起動時のデスクトップの設定とか、ログイン先の設定などがある。このような設定内容は端末側に備えた設定記録手段に全て書き込み、それを起動時に読み込むことで設定内容の復元を行っている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 上記のような健康管理端末にて測定データの異常検出を行うシステムでは、端末は各利用者に一台である。ところが、予防医学の一環として健康管理システムを運用する場合、例えば家族の健康管理を行う場合、家庭や医療施設等で一台の健康管理端末を複数の利用者が共同利用する場合がほとんどである。

【0006】 この場合、利用者によって、過去の病歴、性別、左利き右利き、等がそれぞれ様々であり、利用者によって測定する項目なども違ってくることが考えられる。すなわち、同一の端末を使っている、利用者に応

じて最適なガイダンス表示（利用者が右利きであれば入力ボタンを画面右側に配置したり、高齢で老眼が進んでいる利用者であれば文字サイズを大きくする等）が必要となる。また、生体データを測定する内容は利用者によってそれぞれ異なることが多く、端末が備える測定手段の制御プログラムは、利用者によって異なることが一般的である。従って利用者毎に使い易い端末の設定を行おうとすると、画面表示、測定手段制御プログラムは利用者毎に最適化する事が望ましい。

【0007】しかしながら、一般的にパソコン端末等において、端末側に利用者固有の設定する従来の方法では、端末側に全ての設定を記憶させているから、端末側の設定を起動時に復元することはできるが、サーバー側の設定変更にかかわる操作ガイダンス表示や、プログラムの更新を直ちに反映することはできない。

【0008】また健康管理システムにおいては、複数の利用者が同じ端末を扱うこと、利用者毎に設定内容が異なるため端末の設定が複雑となる。従来、パソコンでは利用者自身が設定を行うことが一般であるが、健康管理端末は老若男女一般多くの人が扱うものなので利用者自身が設定を行うことは困難である。また設定代行者が利用者宅に行き端末を操作して設定を行うことも考えられるが、健康管理端末の数が多いため効率的とは言えない。

【0009】加えて、健康データを受信して扱うサーバー側でプログラム変更を行う場合、それに対応してサーバーに接続する全ての健康管理端末の設定やプログラムを変更する必要がある。従来の方法ではこれに迅速に対応することはできない。例えば、インフルエンザが流行しているときは、インフルエンザにかかりやすい体質の人を対象にして、流行中のインフルエンザの特徴を示して問診し、問診の結果に応じて必要であればその被測定者には体温の測定を新たに加えることがある。このような健康管理端末の設定やプログラム変更は緊急であり、数日以内に行わなくては効果がない。

【0010】

【課題を解決するための手段】前記従来の課題を解決するために本発明の健康管理システムは、ネットワークに接続して、被測定者の健康データを測定して送信する健康データ測定端末と、前記健康データを受信し記憶するサーバーとで構成される健康管理システムで、前記健康データ測定端末は、被測定者を識別する利用者ID情報または健康データ測定端末を識別する端末ID情報を前記サーバーに送信するID情報送信手段と、前記サーバーから受信したプログラムを実行するプログラム実行手段とを備え、前記サーバーは、被測定者の属性情報を記憶する記憶部と、受信した前記ID情報に応じて被測定者の属性情報を検索する検索部と、前記属性情報に応じてユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを選択し前記健康データ測定端末に送信するプログラ

ム送信手段を備えるものである。

【0011】これによって、事前にアンケート又は端末からの操作によって利用者毎に利用者ID情報の設定と、各利用者ID情報毎に過去の病歴、性別、身体的特徴等の属性情報をサーバー登録しておき、健康データ測定端末からログイン時に利用者IDを確認することで事前のアンケート又は端末から入力された属性情報に従って、最適なガイダンス表示や必要なプログラムを選択して、サーバーから端末に送信するものである。属性情報はサーバー側で一括管理されているから、ガイダンス表示の更新、プログラムのバージョンアップなどを実施した場合も、サーバー側のプログラムやガイダンスの更新を行うことで、利用者毎のガイダンス、プログラムも同時に更新することが出来る。従って、利用者にとって最適な、ガイダンス表示や、機器制御プログラムをサーバー側から送信することで、常に最新最適化を行った表示やプログラムを提供できるから、利用者の利便性を最大限に保証することができるものである。

【0012】

【発明実施の形態】請求項1記載の発明は、ネットワークに接続して、被測定者の健康データを測定して送信する健康データ測定端末と、前記健康データを受信し記憶するサーバーとで構成され、前記健康データ測定端末は、被測定者を識別する利用者ID情報または健康データ測定端末を識別する端末ID情報を前記サーバーに送信するID情報送信手段と、前記サーバーから受信したプログラムを実行するプログラム実行手段とを備え、前記サーバーは、被測定者の属性情報を記憶する記憶部と、受信した前記ID情報に応じて被測定者の属性情報を検索する検索部と、前記属性情報に応じてユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを選択し前記健康データ測定端末に送信するプログラム送信手段を備える健康管理システムである。そして、被測定者を識別する利用者ID情報または健康データ測定端末を識別する端末ID情報によって、健康データ測定端末のユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを変更することができ、様々な被測定者に対応することができる。

【0013】請求項2記載の発明は、ネットワークに接続して、被測定者の健康データを測定して送信する健康データ測定端末と、前記健康データを受信し記憶するサーバーとで構成される健康管理システムで、前記健康データ測定端末は、被測定者の属性情報を入力して前記サーバーに属性情報を送信する属性情報送信手段と、前記サーバーから受信したプログラムを実行するプログラム実行手段とを備え、前記サーバーは、受信した前記属性情報に応じてユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを選択し前記健康データ測定端末に送信するプログラム送信手段を備える健康管理システムである。そして、健康端末に入力する被測定者の属性情報に

よって健康データ測定端末のユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを変更することができ、様々な被測定者に対応することができる。

【0014】請求項3記載の発明は、属性情報は被測定者の身体的特徴である健康管理システムである。そして、被測定者の身体的特徴に応じて健康データ測定端末のユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを変更することができ、健康データ測定端末の問診や操作に関するガイダンスに関するプログラムを変更することができる。

【0015】請求項4記載の発明は、ユーザーインタフェースは、問診や操作に関するガイダンスである健康管理システムである。そして、被測定者の年齢や国籍、性別や使用言語に応じて健康データ測定端末のユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを変更することができ、様々な被測定者に対応することができる。

【0016】特許項5記載の発明は、属性情報に被測定者の年齢情報を含み、前記属性情報に応じてユーザーインタフェースやその表示文字の大きさを変更する健康管理システムである。そして、被測定者の年齢に応じて健康データ測定端末のユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを変更することができ、様々な被測定者に対応することができる。

【0017】請求項6記載の発明は、属性情報に被測定者の国籍や使用言語の情報を含み、前記属性情報に応じてユーザーインタフェースやその表示言語を変更する健康管理システムである。そして、被測定者の国籍や使用言語に応じて健康データ測定端末のユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを変更することができ、様々な被測定者に対応することができる。

【0018】請求項7記載の発明は、属性情報に被測定者の性別の情報を含み、前記属性情報に応じてユーザーインタフェースや問診内容を変更する健康管理システムである。そして、被測定者の性別に応じて健康データ測定端末のユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを変更することができ、様々な被測定者に対応することができる。

【0019】請求項8記載の発明は、健康データ測定端末において被測定者の入力操作の全部又は一部の履歴状況をサーバーに送信し、受信した前記履歴状況をサーバーの記憶部に記憶する健康管理システムである。そして、被測定者の操作の全部又は一部の操作入力履歴状況をサーバーで記憶するので、被測定者の入力操作状況を分析して使い勝手の良いユーザーインタフェースや問診内容を判定に使うことができる。

【0020】請求項9記載の発明は、サーバーは入力操作判定部を備えて、健康データ測定端末における操作入力の履歴状況を分析してユーザーインタフェースを判定する健康管理システムである。そして、被測定者の操作入力の履歴状況からわかりにくいユーザーインターフェ

ース等を判定するので、使い勝手の良いユーザーインタフェースを構築することができる。

【0021】請求項10記載の発明は、入力操作判定部は、履歴状況の分析において、健康データ測定端末に表示する画面を過去の画面に戻す操作や操作ガイダンスを要求する操作を被測定者が行った場合に、被測定者から見てわかりにくいユーザーインタフェースであると判定する健康管理システムである。そして、被測定者が表示画面を以前の画面に戻る操作からわかりにくい操作を判定するので、使い勝手の良いユーザーインタフェースを構築することができる。

【0022】

【実施例】以下本発明の実施例について、図面を参照しながら説明する。

【0023】（実施例1）健康管理システムの全体ブロック構成図を第1図に示す。100が健康データ測定端末である利用者端末、101がセンターサーバー、102が医者用端末、103がネットワークである。ここで、100は、健康管理用端末機器、101は健康管理システムサーバー、102は、医者用端末機器、103は、ネットワークである。

【0024】被測定者は、利用者端末100を操作して、ネットワーク103経由で、センターサーバー101にログインして、センターサーバー101から、必要なプログラムやGUIデータをダウンロードして、利用者端末100の表示手段に表示し、生体データの測定、質問への回答を行うものである。

【0025】第2図に利用者端末100の詳細ブロック図を示す。ここで、1はセンターサーバー101や医者用端末102と通信を行うための通信手段、2は生体データを測定するセンサ、3はセンサからのデータを電気信号に変換する測定手段、4はCRTや液晶で構成される表示手段、5は被測定者の属性情報を入力する入力手段でタッチパネルやキーボードで構成される。6は、カメラやマイクロホンで、医者端末と問診や、視診のときに用いるものである。8は被測定者を識別する利用者ID情報または利用者端末を識別する端末ID情報を設定するID設定部である。7は利用者端末全体を制御するCPUで1～6、8の周辺機器からの信号を処理したり、サーバー101から受信したプログラムを実行するプログラム実行手段を兼ねる。また通信手段1は、ID設定手段8からの利用者ID情報や端末IDをセンターサーバー101に送信するID情報送信手段を兼ねる。

【0026】第3図にセンターサーバー側のブロック図を示す。21は利用者端末100や医者用端末と通信を行うための通信手段、22は被測定者の属性情報を記憶する記憶手段、23はサーバー全体を制御するCPUで、24は記憶手段とCPUとからなるデータベースである。また、CPU23は、利用者端末100から受信したID情報に応じて被測定者の属性情報を検索し、属

性情報に応じてユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを選択し利用者端末に送信するプログラム送信手段を兼ねる。

【0027】第4図に医者用者端末102の詳細ブロック図を示す。ここで、31はセンターサーバー101や利用者端末100と通信を行うための通信手段、33は記憶手段、34はCRTや液晶で構成される表示手段、35は入力手段でタッチパネルやキーボードで構成される。36は、カメラやマイクロホンで、医者端末と問診や、視診のときに用いるものである。37は医者端末全体を制御するCPUで31～36の周辺機器からの信号を処理したり、サーバー101から受信したプログラムを実行する。

【0028】次に全体の動作を説明する。

【0029】利用者は、利用者端末100を起動する。次に、利用者端末100は、ID設定部8に設定された端末IDをセンターサーバー101にネットワーク103を介して送信する。センターサーバー101は、端末IDをサーバー101内のデータベース10と比較して、予め登録されたいくつかの利用者名をネットワーク103を介して利用者端末100に送信する。

【0030】サーバーから送信された利用者名は利用者端末の表示手段4に表示され、利用者はこれを確認し該当するものを選択し、利用者に与えられたパスワードを入力手段5から入力する。次に利用者端末100は、再度サーバー101に利用者情報を送信する。サーバー101は、利用者情報とパスワードをサーバー内のデータベース24と比較して、利用者の認証を行う。

【0031】これで、端末100と、その利用者が共にサーバーに認証されたことになる。このとき、利用者端末100は被測定者を識別する利用者ID情報または健康データ測定端末を識別する端末ID情報を通信手段1によってサーバー101に送信しているが、サーバー101は、被測定者の属性情報を記憶手段19に記憶しており、受信したID情報に応じて被測定者の属性情報をCPU17が検索する。そしてCPU17は、属性情報に応じてユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを選択し通信手段11から利用者端末100に送信する。ユーザーインタフェースは、例えば問診や操作に関するガイダンスである。

【0032】利用者端末100のCPU7は、通信手段1によって受信したサーバー101からのプログラムを実行する。したがって、事前にアンケート等によって与えられた属性情報に基づいて、最適なガイダンス表示、測定機器制御プログラム等をサーバー101から端末100に送信し、表示手段4に操作方法を表示する。また、CPU7や測定手段3に制御プログラムを送って、必要な利用者の生体データの測定を行う。

【0033】以上によって、被測定者を識別する利用者ID情報または健康データ測定端末を識別する端末ID

情報によって、健康データ測定端末のユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを変更することができ、様々な被測定者に対応することができる。

【0034】属性情報は被測定者の身体的特徴とすれば、被測定者の身体的特徴に応じて健康データ測定端末のユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを変更することができ、健康データ測定端末の問診や操作に関するガイダンスに関するプログラムを変更することができる。また、属性情報は被測定者の国籍や使用言語の情報とすれば、被測定者の国籍や使用言語に応じて健康データ測定端末のユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを変更することができ、様々な被測定者に対応することができる。

【0035】また、属性情報は被測定者の性別の情報とすれば、被測定者の性別に応じて健康データ測定端末のユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを変更することができ、様々な被測定者に対応することができる。

【0036】また、属性情報は被測定者の病歴や飲んでいる薬に関する情報とすれば、被測定者のかかりやすい病気や体質に応じて問診内容に関するプログラムを変更することができ、様々な被測定者に対応することができる。

【0037】なお、利用者端末100の通信手段1は被測定者の属性情報をセンターサーバー101に送信する属性情報送信手段を兼ねてもよい。そしてセンターサーバー101のCPU23は利用者端末100から受信した属性情報に応じてユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを選択し利用者端末に送信してもよい。この場合は、健康端末に入力する被測定者の属性情報によって健康データ測定端末のユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを変更することができ、様々な被測定者に対応することができる。そして、被測定者の年齢や国籍、性別や使用言語に応じて健康データ測定端末のユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを変更することができ、様々な被測定者に対応することができる。

【0038】次に、測定ガイダンスの表示に従って、順次、測定を進めて、測定や設問に答えるなどの操作を行い利用者の健康データ測定を完了する。その際、測定者が、それぞれの画面で、どのように操作を行ったかをセンターサーバー側のデータベースに、オペレーションログとして、必要に応じて、一部又は、全部を記録する構成にしてある。すなわち、CPU7は利用者端末100において被測定者の入力操作の全部又は一部の履歴状況を監視し、通信手段1によってサーバー101に送信する。サーバー101は、受信した履歴状況を記憶手段19に記憶し、CPU23で操作入力の履歴状況を分析してユーザーインタフェースを判定する。例えば、履歴状況の分析において、健康データ測定端末に表示する画面

を過去の画面に戻す操作や操作ガイダンスを要求する操作を被測定者が行った場合に、被測定者から見てわかりにくいユーザーインタフェースであると判定する。

【0039】従って、利用者がどの画面で迷って、ガイダンスの要求ボタンを押したか、間違った操作をしたかが、サーバーの記憶手段22に記録され分析される。

【0040】このデータを基に、例えば、測定者が測定を続けられなくなった場合は、測定者の一連の操作から、測定者がどこで、迷っているか、わからなくなっているかをセンター側のデータベースの、履歴から解析し、ガイダンス表示の内容を評価し、測定者が誰にでも分かり易い、ガイダンス表示を行うデータとして、用いることができる。

【0041】以上によって、被測定者の操作入力の履歴状況からわかりにくいユーザーインターフェース等を判定するので、使い勝手の良いユーザーインタフェースを構築することができる。

【0042】なお、測定後、生体データは、端末100からセンターサーバー101に送信され、センターサーバー101のデータベース24に登録される。以後、センターサーバー101には、利用者の生体データが登録され蓄積される。

【0043】また、医者用端末102から、ネットワーク103を介してサーバー101にログインして、利用者の生体情報を閲覧後、必要に応じて、利用者端末100に電子メールなどで、注意や助言などのレポートを送ることができる。また、医者用端末102はセンターサーバー101と通信を行い、センターサーバー101のデータベース10に登録された、利用者端末のID番号を参照し、必要な利用者データ、測定のためのプログラム、ガイダンスの為のプログラムをダウンロードする。

【0044】

【発明の効果】以上のように、本発明によれば、被測定者を識別する利用者ID情報または健康データ測定端末を識別する端末ID情報によって、健康データ測定端末のユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを変更することができ、様々な被測定者に対応することができる。

【0045】また、健康端末に入力する被測定者の属性情報によって健康データ測定端末のユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを変更することができ、様々な被測定者に対応することができる。

【0046】そして、被測定者の身体的特徴に応じて健康データ測定端末のユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを変更することができ、健康データ測定端末の問診や操作に関するガイダンスに関するプログラムを変更することができる。

【0047】あるいは、被測定者の年齢や国籍、性別や使用言語に応じて健康データ測定端末のユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを変更すること

ができ、様々な被測定者に対応することができる。

【0048】また、被測定者の年齢に応じて健康データ測定端末のユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを変更することができ、様々な被測定者に対応することができる。

【0049】そして、被測定者の国籍や使用言語に応じて健康データ測定端末のユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを変更することができ、様々な被測定者に対応することができる。

10 【0050】また、被測定者の性別に応じて健康データ測定端末のユーザーインタフェースや問診内容に関するプログラムを変更することができ、様々な被測定者に対応することができる。

【0051】そして、被測定者の操作の全部又は一部の操作入力の履歴状況をサーバーで記憶するので、被測定者の入力操作状況を分析して使い勝手の良いユーザーインタフェースや問診内容を判定に使うことができる。

20 【0052】そして、被測定者の操作入力の履歴状況からわかりにくいユーザーインターフェース等を判定するので、使い勝手の良いユーザーインタフェースを構築することができる。

【0053】そして、被測定者が表示画面を以前の画面に戻る操作からわかりにくい操作を判定するので、使い勝手の良いユーザーインタフェースを構築することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例1における健康管理システムの全体ブロック図

30 【図2】本発明の実施例1における利用者端末の詳細ブロック図

【図3】本発明の実施例1におけるセンターサーバーの詳細ブロック図

【図4】本発明の実施例1における医者端末の詳細ブロック図

【符号の説明】

1 通信手段（ID情報送信手段および属性情報送信手段）

2 センサ

3 測定手段

40 4 表示手段

5 入力手段

7 利用者端末のCPU（プログラム実行手段）

8 ID設定手段

21 通信手段

22 記憶手段

23 センターサーバーのCPU（検索部、プログラム送信手段、および入力操作判定部を兼ねる）

24 データベース

31 通信手段

50 34 表示手段

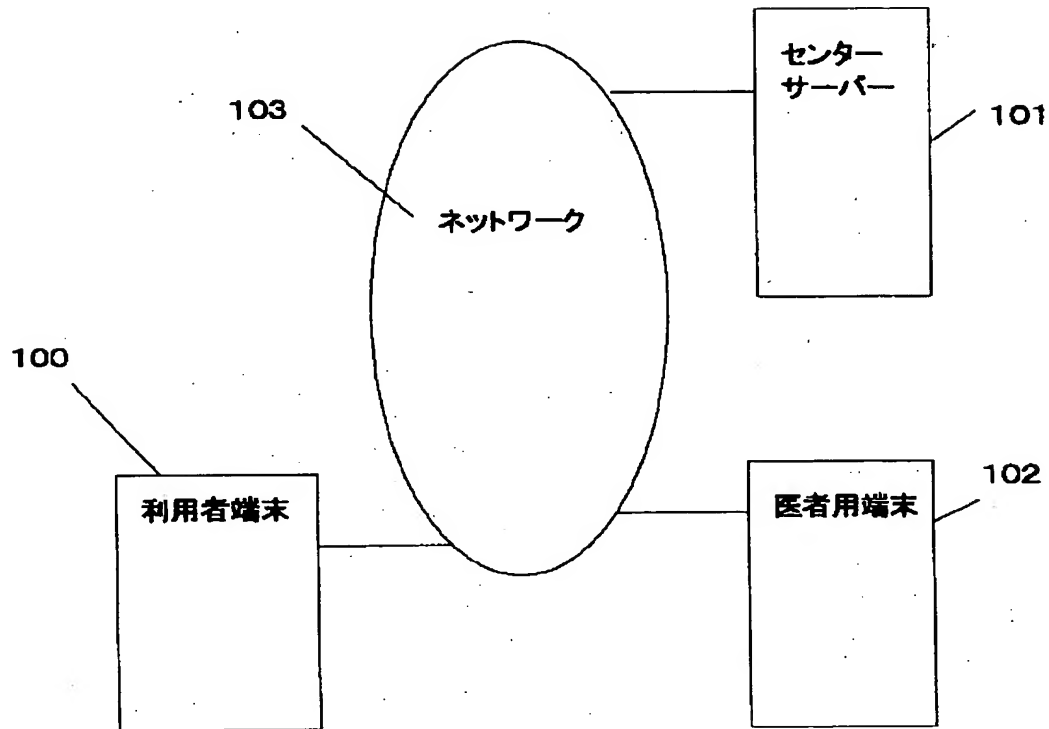
11

12

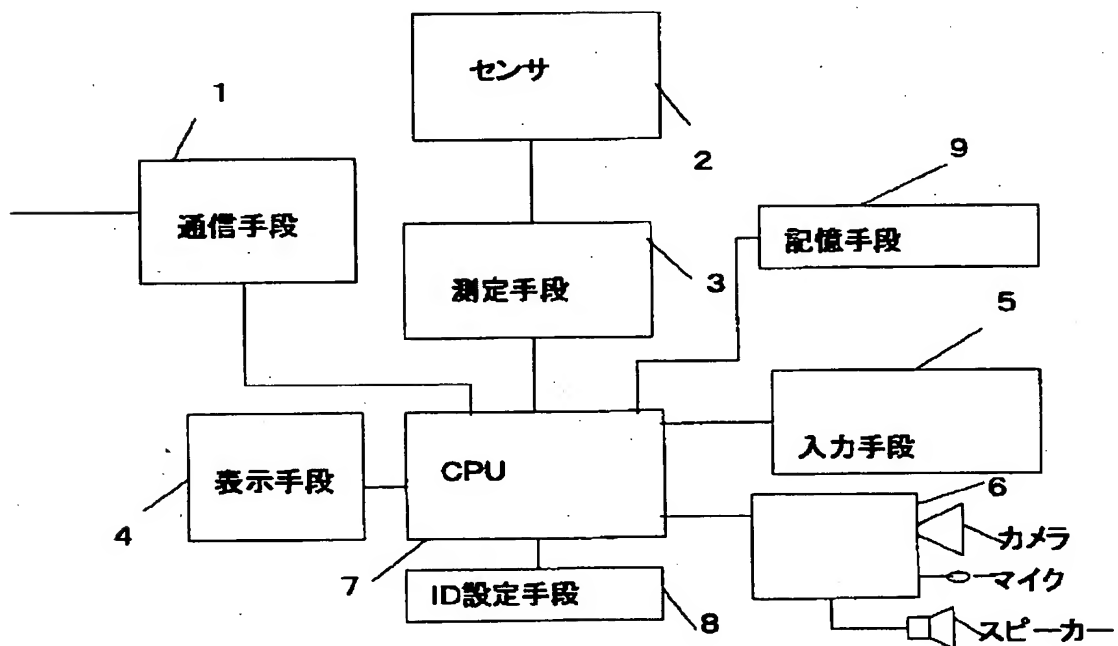
35 入力手段
 37 医者用端末のCPU
 39 記憶手段
 100 利用者端末 (健康データ測定端末)

101 センターサーバー
 102 医者用端末
 103 ネットワーク

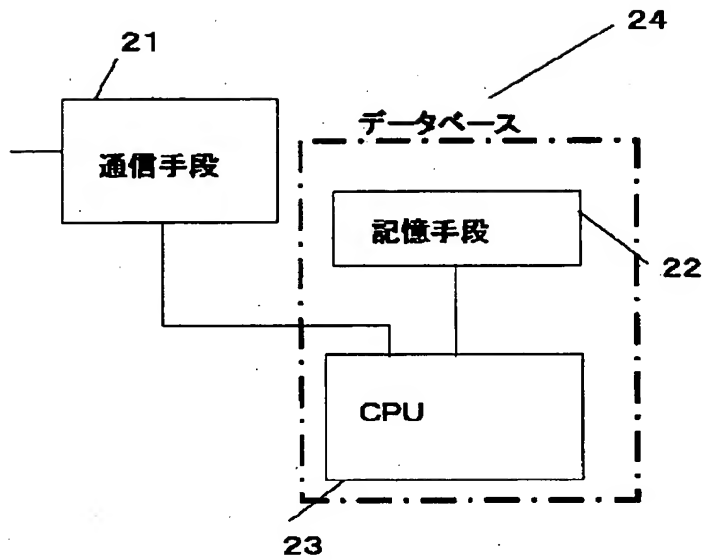
【図1】



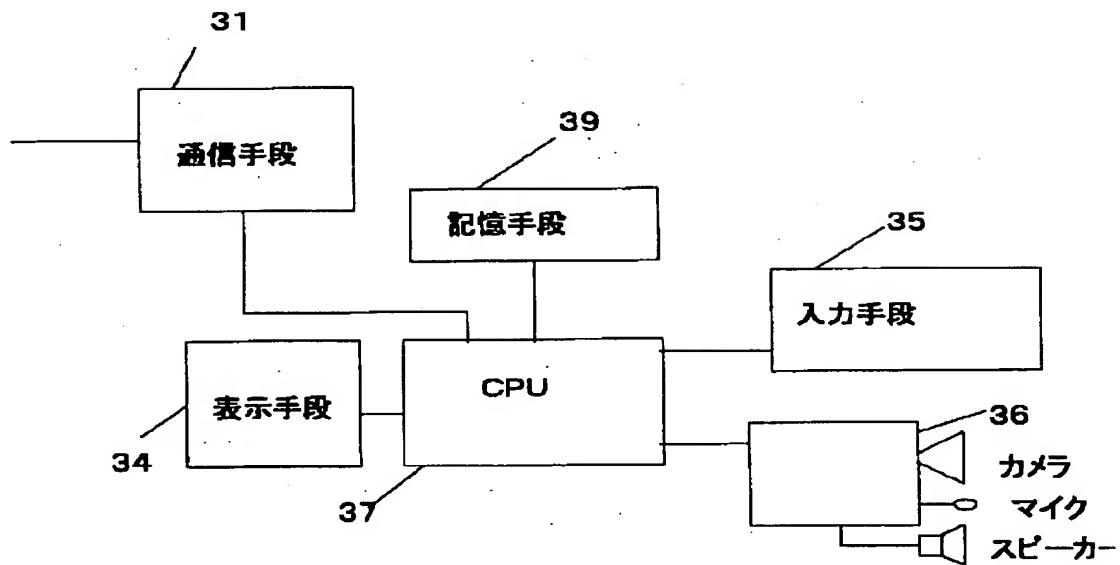
【図2】



【図 3】



【図 4】



フロントページの続き

(72)発明者 山下 邦彦
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72)発明者 金澤 靖之
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72)発明者 野村 博義
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72)発明者 安井 利彦
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

Fターム(参考) 5B049 AA01 BB41 CC03 DD00 DD01
DD05 EE05 EE07 FF03 FF04
FF06 FF09 GG04 GG07 GG08
GG09